

News Release

株式会社山陰合同銀行

〒690-0062 島根県松江市魚町 10
TEL.0852-55-1000
<https://www.gogin.co.jp>

2021年4月12日

地方創生に資する金融機関等の特徴的事例への選定・表彰（3年連続） ～山陰地方の金融機関として最多4事例目の選定～

山陰合同銀行（頭取 山崎 徹）では、内閣官房まち・ひと・しごと創生本部が選定する「地方創生に資する金融機関等の特徴的な取組事例（令和2年度）」において、当行が地元自治体、民間事業者等と連携して実施した「角盤町エリア“復活”プロジェクト（鳥取県米子市）」の取り組みが選定・表彰されましたのでお知らせします。今回の選定により、当行は3年連続、4事例目の選定となり、山陰地方の金融機関としては最多の表彰となります。

当行では、引き続き、地元自治体およびお取引先等へのリレーションシップバンキングを基盤とした各種支援を通じて、地域の持続的発展に貢献してまいります。

記

1. 取組事例の概要

タイトル	『産官学金言士』の特徴を活かした中心市街地活性化事業 ～角盤町エリア“復活”プロジェクト～
概要 (別紙参照)	<ul style="list-style-type: none"> 空洞化する中心市街地の活性化という地域課題に対し、地元自治体、民間事業者（報道）、教育機関などのさまざまな関係機関と連携し起業・創業を目指すチャレンジャーを中心市街地の空き店舗への出店支援するプロジェクト。 関係機関がそれぞれの特徴を生かしたサポートを実施することで、スムーズな起業・創業につなげるとともに、業界や世代を超えた地域全体で支援の輪を拡げることで、「まちづくり」への機運醸成へつなげている。

地方創生 Web サイト掲載 URL https://www.chisou.go.jp/sousei/pdf/2103_research_kinyu1.pdf

2. 表彰式の模様



写真提供：内閣府 まち・ひと・しごと創生本部事務局

以上



『産官学金言士』の特徴を活かした中心市街地活性化事業～角盤町エリア“復活”プロジェクト～

(山陰合同銀行)

1. 取組の概要

- 「産官学金言士」という様々なステークホルダーが共通認識を持って中心市街地の空洞化という地域課題の解決への糸口を見出すことで、かつての賑わいを取り戻し、活力ある持続可能な中心市街地の復活を目指すため、各ステークホルダーがそれぞれの特徴(ノウハウ)を発揮して連携し、地域での起業を目指すチャレンジャーの想いを支援する“起業創業・中心市街地復活”へのプロジェクト。

2. 取組を始めるに至った経緯、動機等

- 2018年に、地元放送局とともに、メディアと金融というそれぞれのコア業務・機能を活かした地域活性化施策について協議・検討を開始。様々な地域課題を検討した結果、山陰の商都として栄えた中心市街地の衰退に対し、行政と連携した賑わい創出事業を企画。米子市の地方版総合戦略においても中心市街地活性化に対する施策・重要業績評価指標(以下「KPI」)を設定する地元行政へ提案・協議し実施決定に至った。

3. 具体的な取組内容

- 中心市街地の空き店舗への事業者誘致に向けて、地元行政(官)・放送局(言)と当行(金)が中心となり具体的な「角盤町エリア復活プロジェクト」を立ち上げた。一方で、中心市街地の活性化には、地域全体で支援する体制の構築が重要であると考え、地元経済団体(産)、高等専門学校(学)、商店街振興組合(産)、信用保証協会(金)、政府系金融機関(金)、更に不動産管理・仲介等のノウハウを有する宅建協会(士)から、実行委員会の構成員及び協力機関としての参画を得て、地域全体で機運を醸成しながらプロジェクト実施を実現。
- また、新規出店事業者の選考に当たっては、産官学金言士の関係者が、事業性評価や地域活性化の観点から事業プランを審査。大賞受賞者には、行政の出店関連補助金や、高等専門学校生による店舗デザインへの助言、不動産関連コンサルティング(無償)など、出店に向けた多様性のある専門的知見を駆使した支援を実施。

4. 実施にあたり工夫した点(金融機関の役割・推進体制面・PDCAサイクル面等)

- 中心市街地活性化を目指す創業支援補助事業として行政が公募する形態をとったが、多様性のある関係者と連携した専門的アドバイスに加え、地元放送局では本事業の取組をシリーズ化して番組として放送するPR体制等についても募集要項に盛り込み、実効性を高める工夫を行った。
- 県内唯一の高等専門学校が立地する強みを活かし、高等専門学校生による中心市街地活性化を含めた「まちづくり」への関与が、次世代人材を育成する“学び”と“実践”の場になると考え、地域への愛着や想いを醸成する有効な手段となっている。

5. 取組の成果(取組中の場合は目標値・KPI等)

- 定量面においては、2018年からの2か年で、本プロジェクトにおいて10事業候補者の応募があり、そのうち5事業者が空き店舗にて事業を開始(開業率:50%)。当行融資対応:2,200万円(協力金融機関含め2,700万円)、クラウドファンディング:120万円。また、米子市の地方版総合戦略(2015-2019)における、KPI(空き店舗への出店数、商店街振興組合等における環境整備件数)達成にも貢献。
- 定性面における効果としては、地域において起業・創業を目指す人材や事業プランを生み出す機会となった。また、単なるビジネスプランコンテストではなく、事業化へ向けたハンズオン支援を当初より想定することで高い開業率を実現し、地域内で連携し地域で支え育むプロジェクトとなっている。

6. スキーム図等

【地域経済エコシステムの機能発揮による創業支援及び中心市街地活性化スキーム】



ReBorn(復活・再生)をテーマに中心市街地活性化に貢献意欲のある事業者を募集



審査委員会風景(委員長:米子市長)



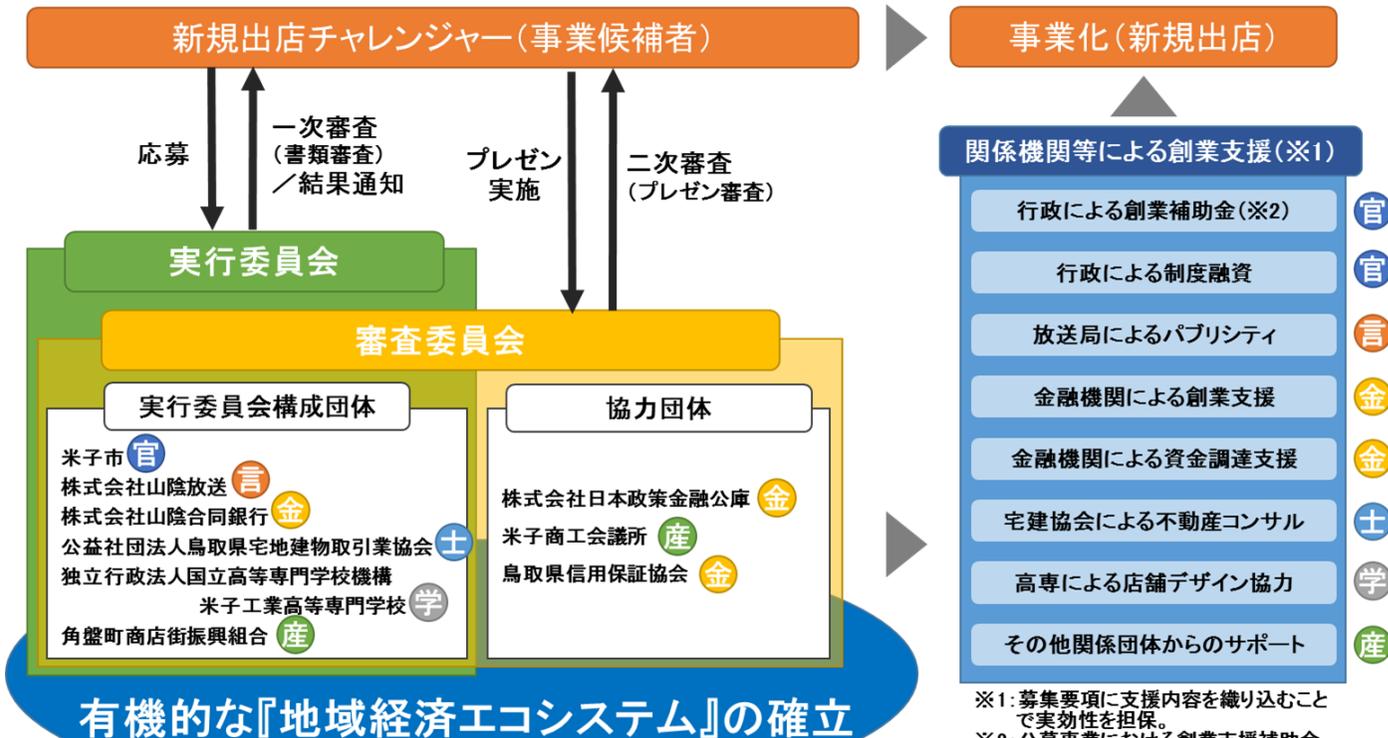
新規出店(左:2018年最優秀、右上:2019年最優秀)

企画立案コアメンバー

米子市

BSS
山陰放送

山陰合同銀行



※1: 募集要項に支援内容を織り込むことで実効性を担保。
 ※2: 公募事業における創業支援補助金の支給は、「大賞」受賞者のみ。